

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(河川)

平成31年度採択テーマ 中間評価結果

(中間評価2年目)

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	避難促進のための防災Go!プロトタイプの開発	福岡工業大学 上杉 昌也	a	・コメントなし
概要	本研究では、防災ゲームである「防災Go!」を開発し、住民が流域を平常時に巡回するように誘導することにより、避難モチベーションや住民の水意識の向上を目指すものである。平常時から地域の河川に親しんでもらうために、地域の空間情報を提供し、現地に行くとポイント等をゲットするゲーム形式のスマホアプリのプロトタイプを開発する。ベースマップとしてクラウドGIS 化した「緑川水辺空間マップ」を用いて、オープンデータやシビックテックの方々と連携する。			
テーマ	急流河川流域における水害版BCPの河川計画・管理への実装可能性に関する研究	富山県立大学 手計 太一	b	・富山県以外の他地域に対しても基本的な情報は知っておく必要があり、その予定があるなら成果に入れるべき。 ・浸水被害にあった地域の意識変化や、BCPの好事例を取り込むと良い。 ・河川計画・管理への実装可能性について検討する必要があるように思われる。
概要	本年度においては、水害BCP インタビュー調査、BCP作成支援からの課題抽出、富山市の企業立地を考慮した水害ポテンシャル評価、行政インタビュー調査を実施した。追加として、コロナ禍下における水害リスクの基礎調査を試行的に実施した。その結果、中小企業のみならず大企業であっても水害版BCP の作成は非常に負担であることが明らかになった。水害版BCP 策定の普及啓発には、行政からのインセンティブと同時に認証評価システムも必要であると考えられる。			
テーマ	氾濫原水域保全・再生に資する物質循環および水生生物相とその分布経緯の解明	北海道大学 根岸 淳二郎	a	・コメントなし
概要	石狩川の堤内地氾濫原水域管理の目標設定、そして有効な事業評価モニタリング手法設計に資する生態系構造に関わる基盤情報の整備を目的とする。特に、複数の保全・再生対象候補水域から事業妥当性に基づく対象地の絞り込みを効率的に行うために、水域内の物質循環と水域を特徴づける水生生物種の分布の現状と経緯を解明する。野外計測と室内実験を用い、水質、底泥の成分分析および遺伝子解析や安定同位体比分析の手法を組み合わせ新規性と実用性の高い科学的知見を提供する。			
テーマ	大井川流砂系土砂管理に向けた支川土砂流入量評価方法の提案	名城大学 溝口 敦子	b	・現地での詳細な計測の実施、及びそれを実験室での素過程把握のため、非常に緻密な実験を行っていることは高く評価できる。 ・実験(素過程)とフィールド(実現象)から得られた成果を有機的に結合して頂きたい。 ・崩壊地の地質調査結果をどのように流出土砂量評価と結び付けるかなど、現場の課題をどう解決するのか明確に示すこと。
概要	本研究では、大井川流砂系土砂管理のために重要な支川土砂流入の評価手法の提案を目指す。そのために、地質・地形的な特徴を把握したうえで、崩壊から河川への流入、本川合流までの河床材料の状況を調べ、支川からの流入量を評価するための素過程を抽出したうえで見積もり方法を検討する。特に、流域の地質が土砂生産に関わり、かつ河道内での質の変化を及ぼしていることを把握したうえで、簡易な評価方法を提案する予定である。			

(氏名五十音順、敬称略)

評価の凡例

a: 研究が順調に実施されており、引き続き研究を推進する。

b: コメントに留意の上、引き続き研究を推進する。(コメントあり)

c: 現在までの進捗状況に鑑み、研究目的の達成が困難であるため、研究を終了する。(コメントあり)